

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	飯田駅観光案内所整備事業	会計	一般会計	事業No.	486	施策順No.	13-016	
		事業種別	政策・その他	予算科目	7-1-4-11-4			
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	観光課			
施策	13 地域内産業の多様な連携			事業期間	開始	21	終了	22

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	観光案内窓口						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田駅前観光案内所(カ所)				1		
	意図	利用できる環境を整える						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	窓口案内所として活動できる環境を整備する(開設する日数)				359	362		A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		・22年度に飯田駅観光案内所をオープンし年末年始に3日間休館したのみで運営にあたった。交流サロンや企画展示を充実したことで、年間32,000人ほどの利用者数を記録した。前年対比187%の増加である。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	平成22年4月1日から飯田市観光案内所(飯田駅前観光案内所)の管理運営が完全に飯田市に移行する。今まで(株)東海交通事業の受託運営で活用に制約が生じていたが、完全移行に伴い新たな観光集客(交流)の拠点として活用できるようになる。観光ガイドの常駐、まち歩き観光と自転車観光を融合させた新たな事業展開が可能となるため、宿泊施設などと連携した開発型観光企画を駅前案内所から手がける。デスクステーションキャンペーンなどの取り組みに対応した独自事業を開発し、JR東海と連携しながら観光協会事業の活性化を図る。単年度でハード整備を行う。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 飯田市観光案内所(飯田駅前観光案内所)の環境整備 ※9:00~18:00の通年営業 (1)看板類、パソコン、プリンター、FAX等の配備(現設備等は(株)東海交通事業所有) (2)事務机、キャビネット、ガイドたまり場の環境整備 2 観光案内ハイサービスの機能整備 (1)整備した設備等の維持経費 (2)各種情報発信の強化	1 環境整備 2 開設日数	1 一式 2 362日
23年度実施計画			

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (そ)繰越金 11,888千円 21→22繰越明許費12,000千円
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他		12,000	11,888		
一般財源					0	
	計(A)		12,000	11,888	0	
	正規職員所要時間			400		
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)			1,430		
	トータルコスト A+B			13,318		

4 事業に対する市民や議会の意見

リニア関連を含めて、JR飯田駅に対する注目が集まっている。JR東海と連携しながら観光協会事業の活性化を図る必要がある。
---

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	地域内産業が、多様な連携により新たな経済活動を創出する。	施策の成果指標又はムトス指標	観光消費額(億円) 地域経済自立度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・まちなかの新たな観光案内拠点が整備できた。中央通り3,4丁目商栄会と連携した企画展示、観光協会員の物産紹介など取り組むことができた。		
	後期に向けた課題			
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・休館日を必要最小限にし、観光案内業務を充実させた。		
	後期に向けた課題			
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・特になし		
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・適正であった。		
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してききましたか	4年間の振り返り	・公設民営に向けたハード整備を行政が行なった。		
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	・まちなかの新たな観光案内拠点が整備できたことで、運営を観光協会へ委託しその充実に努めていただいた。		
	後期に向けた課題			

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	対象や意図を修正する必要はありますか	成果指標や指標値を修正する必要はありますか
----------------------	--------------------	-----------------------

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input checked="" type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
--	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------